

中部様式

令和2年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 岡崎市交通政策会議

平成18年11月17日設置

フィーダー系統 令和元年6月28日 確保維持計画策定等

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
・地域検討組織と連携した、地域にあった利便性の高い移動手段の確保を期待する。	・地域検討組織と連携し、地域に対して、利用状況や多様な運行形態等の情報提供を行うとともに、非効率的な路線の運行見直し及び新規路線の導入を図った。	・見直しや導入を図った額田・六ツ美地区等について引き続き検討を行うとともに、移動手段に不便を感じている声のある他の地区についても、地域住民とともに効率的な移動手段の確保について検討を進める。
・近隣市町と連携した公共交通の利用促進を期待する。	・広域的な路線については近隣市町や事業者等と情報交換を行い、連携を図った。	・引き続き、近隣市町や交通事業者と情報交換を密に行い、より一層の連携の強化を図る。
・GTFS化については、市内全てのバス路線が対応できるよう、関連する事業者との調整等に期待する。	・関連事業者と協議を行った。	・事業者との調整を引き続き行う。

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実態等の現状分析を行い、市としての方向性を整理し、次期公共交通計画の策定に反映していくことを期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実態等の分析を行い、次期公共交通計画の策定を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウィズコロナ」「ポストコロナ」等を考慮し、次期計画の策定を進める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・額田地域については、くらがり線や桜形線を幹線とした交通システム自体を再検証し、地区路線の役割分担を明確化するとともに、需要に合った路線再編等も検討いただくようお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・額田地域を中心として利用実態等を分析し、現在の交通システムの見直しを進め、地域組織や運行事業者とともに路線再編について協議、検討を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を把握し、コロナウイルス等の影響を踏まえつつ、適切な交通サービスについての検討を進める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降は、待合施設の整備や遅延対策など、市内幹線バスの課題検証等についても検討いただくようお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅のバリアフリー整備について、今年度中に2か所の完成を目標に事業を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待合施設の整備や遅延対策のため、情報収集に努める。</li> </ul>

【岡崎市地域公共交通網形成計画】

《計画期間：平成28年度～令和3年度》

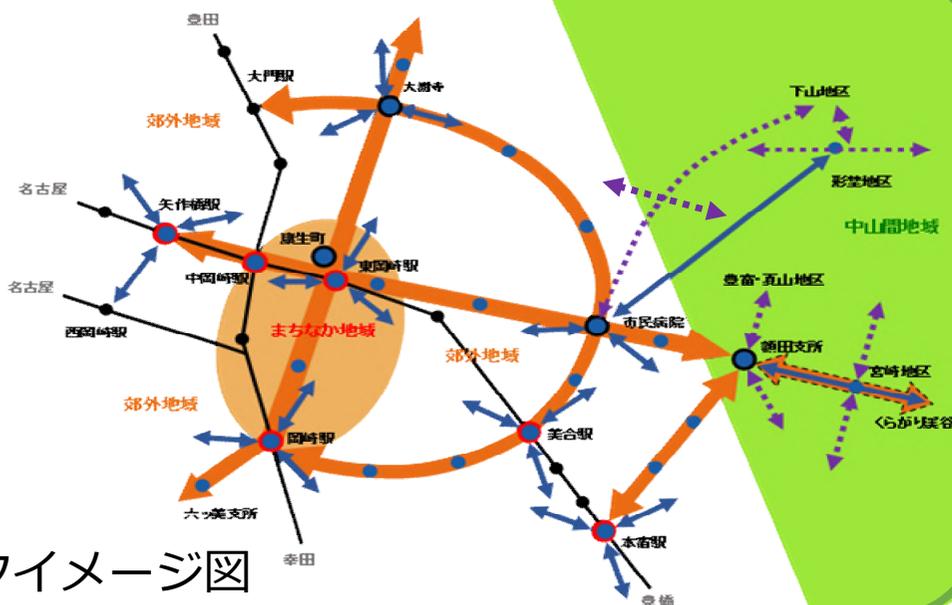
本市には、「まちなか地域」、「郊外地域」、「中山間地域」があり、地域特性に応じたまちづくりが行われている。

本市では、まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの構築等、持続可能な公共交通網を確保するため、平成28年5月に**岡崎市地域公共交通網形成計画**を策定し、公共交通施策の目標を右記のとおり設定した。また、広域的な地域間幹線についても隣接都市との交通ネットワークの主要路線として位置付けている。

公共交通施策の目標

1. 少子高齢化の進展に対応した誰でも使いやすい公共交通整備
2. 地域のニーズにあった利便性の高い公共交通の整備
3. まちづくり施策との連携によるまちの魅力を高める公共交通の整備
4. 地域のコミュニティの活性化や交流を促進する公共交通の整備
5. 市民の意識変容による公共交通利用の促進

凡例	
	鉄道
	基幹路線
	支線交通路線
	生活交通路線 (フィーダー補助対象路線)
	鉄道駅型交通結節点
	バス停型交通結節点



○公共交通ネットワークイメージ図

【主な取組】

1. 額田地域内フィーダー交通の確保・維持・改善 (補助対象事業)

- 額田地域の各路線について、沿線の住民以外も含めて利用状況や他地域の活動等の情報を提供。
- 形埜、宮崎、豊富、夏山地区線の見直しによる運行の効率化。

2. 利用促進の実施

- 公共交通マップを作製し、転入者に対する市民課窓口での配布や市内各施設への設置により、交通路線に係る情報提供を実施。
- 名鉄バスの高齢者パスに対して一部を負担。
- 公共交通のコロナ対策について地域へのチラシ等で周知。

3. 地域内交通の整備 (非補助事業)

- 地域協議会や地域の代表者等と連携・協力し、六ツ美地区では実証運行を開始。

4. 地域公共交通会議の開催 (非補助事業)

- 岡崎市交通政策会議を開催。(5回開催)
- 額田地区、六ツ美地区、矢作地区で地域協議会を開催。

5. 路線の再編、効率化

- まちバスを名鉄バス岡崎北線へ移管。(R2.4)
- 藤田医科大学岡崎医療センターを結ぶ系統の開通。(R2.4)
- デマンド型乗合タクシーの導入。(R2.10)

シルバーバス65 (65歳以上の高齢者)		購入費差引後	
通常販売価格	1か月券 6,000円	費用の一部負担制度で購入すると	1か月券 5,500円
	2か月券 12,000円		2か月券 11,000円
	3か月券 18,000円		3か月券 16,500円

ゴールドバス70 (70歳以上の高齢者)		購入費差引後	
通常販売価格	1か月券 5,000円	費用の一部負担制度で購入すると	1か月券 4,500円
	2か月券 10,000円		2か月券 9,000円
	3か月券 15,000円		3か月券 13,500円

※担当: 岡崎市総合政策推進部地域創生課公共交通係 TEL: 0564-23-6486

高齢者パス補助チラシ



デマンド型乗合タクシー(六ツ美地区)

### 【岡崎市地域公共交通網形成計画における目標及びその評価】

目標達成に向けた取組による目標値を設定しているが、その目標値は計画期間の終了時である令和2年度のものである。計画期間中であるため、把握できる直近の現況値やその評価等を記載。

成果目標	目標値（設定根拠）	直近の現況値（期間・時点）	達成状況
バス利用者数の増加	666万人/年以上(平成24年度乗客数以上)	644万人/年（令和元年度）	未達成
駅のバリアフリー対応	未整備2箇所（計画策定時4箇所）	未整備2箇所（令和3年3月時点）	達成予定
ノンステップバス導入率	50%（計画策定時38%）	61%（令和2年11月時点）	達成
公共交通利用者数の増加	3,000万人/年以上 【計画策定時(平成24年度)】 2,993万人/年以上 鉄道乗客数：2,327万人 バス乗客数：666万人	3,300万人/年 鉄道乗客数：2,656万人 バス乗客数：644万人	達成
地域内交通検討の地域組織の設立	6ヶ所【計画策定時】4箇所(平成26年度)	7ヶ所（令和2年11月時点）	達成
乗り方教室の実施回数	5回/年【計画策定時】1回(平成26年度)	2回/年（令和2年11月時点）	未達成

### ○目標達成状況に対する考察と今後の方針

#### （1）目標達成項目

- ・地域公共交通網形成計画に基づき、市民や交通事業者と連携協力し、移動の確保・維持、地域内交通の整備に努めたほか、利用促進やモビリティマネジメントを実施することができた。

#### （2）目標未達成項目

- ・コロナウイルスの影響により、バスの利用者数の減少や、乗り方教室の自粛等を行ったことにより未達成であった。

→ウィズコロナ期における新たな生活様式等を踏まえつつ利用促進を図り、目標達成を目指す。

**【地域公共交通確保維持改善計画における目標及びその評価】**

○額田地域内フィーダー交通の確保・維持・改善（補助対象事業）

【目標値】①利用者数：平成30年度実績値の現状維持の数値

②利用率：人口が減少傾向にある地域であるため、平成30年度実績値から上昇するように目標値を設定

路線名	①利用者数			②利用率			③日利用者数 令和2年度 実績(人) R01.10~	④沿線人口 令和2年10月 (人)
	令和2年度 目標(人) R01.10~	令和2年度 実績(人) R01.10~	評価	令和2年度 目標(%) R01.10~	令和2年度 実績(%) R01.10~	評価		
A:額田支所市民病院	6,306	5,410	未達成	0.17%	0.13%	未達成	14.8	11,173
B:下山地区線	4,302	2,338	未達成	2.90%	1.14%	未達成	9.7	852
C:形埜地区線	894	511	未達成	0.48%	0.28%	未達成	3.6	1,284
D:宮崎地区線	463	323	未達成	0.42%	0.48%	達成	3.5	730
E:豊富・夏山地区線	492	393	未達成	0.11%	0.13%	達成	4.1	3,031

※「②利用率」=「③日利用者数」/「④沿線人口」×100

※日利用者数及び沿線人口（「③日利用者数」=「①年間利用者数」/「年間運行日数」）

**○目標達成状況に対する考察と今後の方針**

(1) 目標未達成路線（額田支所・市民病院線、下山地区線、形埜地区線、宮崎地区線、豊富・夏山地区線）

考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学利用者の減少や定期的に利用していた高齢者が利用できなくなったため減少。</li> <li>・新型コロナウイルス等により移動需要が減少したが、市内他路線と比べ減少幅が少なく、通勤通学以外の日常生活に必要な移動需要が多いと想定される。</li> </ul>
方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査等で移動需要の変化を把握し、効果的なサービスとなるように検討する。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大を考慮しながら、新しい生活様式に即した利用促進を図る。</li> </ul>

課題

対応方針

- 1 額田地域内フィーダー交通の確保・維持・改善**
- 額田地域以外の住民のほか、高齢者や高校生の利用を増やす必要がある。
  - 車を運転する高齢者が多い。



- 額田地域以外の沿線住民に利用状況の周知を図り、利用促進策の検討等を進める。(随時)
- 地域住民とともに、高校生家庭や高齢者等へ公共交通の利用促進を図る。(随時)
- 地域組織、事業者等と連携し、路線見直しに向けた検討を行う。(随時)

- 2 利用促進策の実施**
- ウィズコロナ期における新たな取組を行っていく必要がある。



- 公共交通マップ等で公共交通機関における感染症対策等をPRし、新たな生活様式に即した利用促進を行う。
- 鉄道駅等の待合施設を整備し、鉄道、バスの乗換利便性を向上させ、利用促進を図る。(～R3.3)

- 3 地域内交通の整備**
- 交通不便地域においては、高齢者等の移動手段の確保が課題となっている。



- 地域検討組織を支援し、地域ニーズにあった利便性の高い多様な移動手段を検討する。(随時)

対応方針の具体的実現に向けて

【中山間地域・交通不便地域】

- 地域住民とともに高齢を迎える方や学生に対して利用促進を図るようメッセージを発していく。
- 地域住民の主体的な取組に対して、地域住民や事業者等と連携して地域ニーズにあった利便性の高い移動手段の検討をおこない、移動手段の確保を目指す。

【市内共通】

- 岡崎市地域公共交通網形成計画の現状把握や評価検証し、次期計画へ向けて見直しを行う。
- 立地適正化計画等を推進するとともに、高齢者や免許返納者に対する施策について、関係部署と研究を進める。